

まちの中の『いい話』

末広町商店街イルミネーション編

末広町では毎年11月末になると、大型ステージイルミネーションが、色とりどりの夢の世界を浮かび上がらせ、街路樹や店舗のイルミネーションは、町を温かな光で包みます。

平成13年度から続いているこの事業は、町に賑わいを取り戻したいという花巻市末広町商店街振興組合とそれを応援し支える住民の願いで始まりました。現在は商店だけではなく一般住宅にもイルミネーションの飾り付けが広まっており、この時期行われるイベントとともに、まさに町ぐるみの取り組みになっています。町を訪れた人々からは「これからも夢を与えてください」等のコメントが寄せられており、組合理事長の山田正之さんは「活き活きたまちづくりのために、また多くの皆さんにイルミネーションの輝きを見て幸せを感じて頂けるように、事業を継続していきたい」と願っています。



お知らせ

ミニライブラリーをご利用ください!

市民協働・男女参画推進課では、これまでに男女共同参画推進フォーラムや講座の講師をお願いした方から著書の寄贈を受けたり、参考図書を購入しています。また、内閣府が発行した男女共同参画基本法やまちづくりなどの活動をしている方々を紹介したビデオやDVDがあります。今回はこの中からいくつかご紹介いたします。「借りて読んでみたいな」という方は、下記にご連絡ください。

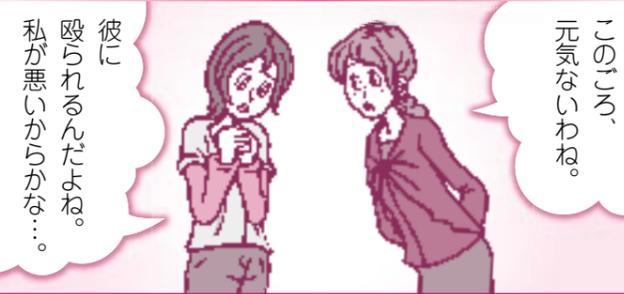
主な図書紹介

- 西田 小夜子 「スクーリングブルース」、「定年漂流」、「妻と夫の定年塾」ほか
- 山崎 久民 「イチ子の遺言」、「税理士が見たジェンダー」
- 湘南DVサポートセンター代表 瀬田 信之、構成：藤原 千尋 「それ、恋愛じゃなくてDVです」
- 絵：永田 萌、文：小笠原 みどり 「世界中のひまわり姫へ」
- 内閣府 「平成21年度男女共同参画白書」

*ビデオ・DVDについてはお問合せのうえ、ご利用ください。

*お問合せ先
市役所本庁舎2階 政策推進部市民協働・男女参画推進課
電話：24-2111(内線420)、ファックス：22-6995
メールアドレス kyodo-danjo@city.hanamaki.iwate.jp

知っていますか? DVのこと



DVを受けている側に問題があると思いませんか?



相談されたら、まず聞いてあげましょう



「あなたにも問題があるんじゃない?」、「もう少し様子見たら?」などと言うのはやめましょう

*DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、一般的に「配偶者や恋人など親密な関係にある(あった)相手から振られる暴力」のことを言います。身体的な暴力だけでなく、精神的・性的・経済的・社会的な暴力もあり、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。

DV相談窓口(花巻市内)

- *男性も女性も相談できます。
- 配偶者暴力相談支援センター
- ◆岩手県南広域振興局
花巻総合支局保健福祉環境部(花巻市花城町1-41)
月～金 8:30～17:00 ☎0198-22-4921
- 警察(岩手県警)
- ◆花巻警察署生活安全課 ☎0198-23-0110
身の危険を感じたら……迷わず110番
- 花巻市役所
- ◆健康こども部こども課(新館1階)＜女性相談＞
月～金 9:00～16:00 ☎0198-24-2111(内線597)
- ◆政策推進部市民協働・男女参画推進課(本庁舎2階)
月～金 8:30～17:30 ☎0198-22-2217(相談専用電話)

●We(ウィー)への意見・感想などをお寄せください。

編集 男女共同参画情報紙編集委員(50名順)
(小原史湖、川端淑子、高橋奏恵、藤根悦子、穂高マツヨ、若菜多摩英)
表紙イラスト 大越 佳代子

発行 花巻市政策推進部市民協働・男女参画推進課

〒025-8601 花巻市花城町9番30号
TEL 0198-24-2111(内線420)
FAX 0198-22-6995
E-mail kyodo-danjo@city.hanamaki.iwate.jp
HP http://www.city.hanamaki.iwate.jp/



— 特集 —

やりたいことにチャレンジ!

～少しの勇気とはじめの一歩～

vol.8 平成22年3月 はなまき



岩手県立花巻農業高等学校鹿踊部のみなさん(平成21年12月27日撮影)

岩手県立花巻農業高等学校鹿踊部は、50年前、岩手県農業クラブ連盟大会で鹿踊を披露し大好評だったことから誕生しました。神楽や鹿踊などの郷土芸能は男性というイメージでしたが、17、8年前、男子部員だけだったところへ、初めて女子生徒が入部し、現在は女子部長を中心に、重さ15キロの装束を身にまとい踊り続けられるよう日々練習に励んでいます。

鹿踊の中立(中央)は男女を問わず本人の希望を優先して決められ、大切な衣装の補修や繕いなどは部員全員が行っています。「入学説明会の時、先輩の演舞に感動した」、「鹿踊の練習を通して、自分に自信が持てるようになった」、「後輩に郷土芸能の素晴らしさ、楽しさと礼儀作法、挨拶もしっかり伝えたい」と話す部員の皆さんの生き生きとした様子に、これからの活動への期待がふくらみます。



Weは英語で「私たち」という意味。男女共同参画を「私たちみんなで考え、みんなですすめていきたい」と願って名づけました。

目指すは花巻コレクション! 歩み出した3Rショップ

「3Rショップ」は使わなくなった衣類を新しい物に変身させるグループです。メンバーの年齢は20代～70代と様々ですが、皆が先生で皆が生徒。「ここどうしたらいいかしら?」、「いいデザインだね」と、いろいろな意見が飛び交います。

活動のきっかけは花巻市環境マイスター八重樫千代子さんの講演でした。白Yシャツがエプロンに、羽織がズボンにと変身した作品を見て感激し、JAいわて花巻女性部宮野目支部が八重樫さんを招いて講習会を開催。当日は他地域の人も加わり、輪が広がりました。

活動場所のJA宮野目支店には、月1回、不要になった衣類や裁縫道具を持った仲間たちが常時15人ほど集まってきました。初めは「本当にできるのかなあ」と思っていた人

も、仲間と取り組むうちに想像力がどんどん働くようになってきたそう。「皆いろいろな能力があるんだ!埋もれている力をもっと引き出さないと」。作品を見てそんなことを感じた人もいます。活動を始めてまだ一年あまりですが、市内の商業施設での展示が決まり、販売もしたいと張り切っています。

夢は不要になったミシンを集め、作品を販売できる常設の工房を作ること。「パリコレ」ならぬ「ハナコレ(花巻コレクション)」も開きたい。夢はふくらみます。

※3RのRは、Reduce(減らす)、Reuse(再利用)、Recycle(再生利用)の頭文字
※花巻市環境マイスター…環境保全活動を応援する環境学習推進員



3Rショップのみなさん

案山子の競争力を高めた せきざくらの会

今や、特産物直売所「案山子」のヒット商品となっている焼きプリン大福。これを生み出した「せきざくらの会」は平成13年に誕生しました。

当時、直売所は増加の一途で、案山子の組合員は、野菜だけの直売所では今後立ちいかななくなるだろうと考えました。そこで、17名の女性たちが農産物加工グループを立ち上げ、加工所を建設しました。建設資金は会員が出し合ったほかに、融資も受けましたが、平成21年には返済を完了しています。

「美味しいもののおすそわけ」と「個人のアイデアの尊重」をモットーに商品開発を進めています。現在、加工品売上のトップになった焼きプリン大福ですが、最初は

形にもならず、試作は失敗続きでした。それでもあきらめずに会員が励まし支え合って作り続け、ようやく生まれたものです。

「活動を通じて、仲間の助け合いやお客様との交流も生まれ、コミュニケーションの力も付きました。苦楽を共に出来る仲間がいるのでストレスも解消されます。売れ残った商品の持ち帰りは辛いですが、モットーを大切に、これからも商品開発を続けていきたいです。そのためにも若い仲間を増やしていきたいです」。気負いなく話す照井さんから、商品を開発した誇りと会への信頼が伝わってきました。



せきざくらの会 代表 照井 正子さん
(花巻市宮野目在住)

やりたいことにチャレンジ! ～ 少しの勇気とはじめの一歩～

私たちは、好きなもの、嫌いなもの、考え方や暮らし方、それぞれみんな違います。これからは、一人ひとりの個性や持っている力を活かして働いたり、生きていくことができる社会になるといいですね。

いままで女性たちは、何かを支える立場にすることが多く、自分で物事を決めたり、活動を始めたりすることが少ない状況でした。今号のWeでは、女性のチャレンジにスポットをあて、自分の経験や趣味、特技を活かして、長い間の夢を叶えたり、同じ思いの仲間と支えあって歩き出した方々を紹介します。もしかすると、あなたのチャレンジの一歩は身近なところにあるかもしれません。



思いが実った ちやいんど文庫



ちやいんど文庫の 高野橋 キンさん
(花巻市湯口在住)

「ちやいんど文庫」は高野橋キンさんが自宅の2階で開いている子どものための文庫です。

文庫を開きたいと思うようになったのは、幼稚園に勤務していた頃の研修会で講師の山崎翠さん(和光大学

講師、なかよし文庫主宰)から「身近な人による絵本の読み聞かせは子どもにとっては愛の体験であり、心の財産となるもの」という話を聞き、深く共感したことがきっかけでした。研修後、周囲に「60歳になったら文庫を開く!」と宣言。以来、絵本を買い集め、退職後は家族の介護をしながら準備を進めました。

最初は半信半疑だった家族も、「文庫を開きたい!」と言い続ける深い思いを理解し協力するようになりました。そうして「ちやいんど文庫」は山崎さんのアドバイスもあって平成20年11月に誕生しました。

現在文庫には1,360冊もの絵本がありますが、絵本の貸し出しだけではなく、読み聞かせもしています。子どもと一緒に聞いていた父親の「絵本がこんなに楽しいものだとは知らなかった。」という感想を聞いて、とても嬉しく思ったそうです。

家族の理解や協力があって、長年の思いを実現できたと感謝している高野橋さん。「子どもたちだけではなく、大人も絵本の素晴らしさを知って欲しい」と話していました。

あなたのチャレンジ お役立ち情報

農業に関する情報

*「農業技術の向上」、「農産物の加工をしたい」など農業全般の相談

お問合せ先: 花巻市農林水産部農政課
☎24-2111 (内線6-290・6-292)

*家族経営協定の相談

お問合せ先: 花巻市農業委員会事務局
☎24-2111 (内線6-279)

しごとに関する情報

*新規起業、新分野開発、新規出店に関する相談、専門家によるアドバイスなど

お問合せ先: 花巻市商工観光部商工労政課
☎24-2111 (内線388・389)



あなたのチャレンジ お役立ち情報

ボランティアなどに関する情報

*あったかいなはん花巻の観光ボランティアガイド(観光案内ボランティアの養成)

お問合せ先: 社団法人花巻観光協会
☎22-5557

*ファミリー・サポート・センターのこどもあずかり会員登録

お問合せ先: はなまきファミリー・サポート・センター
☎24-5055

市民団体活動に関する情報

*NPOの活動に関する相談

お問合せ先:
NPO法人花巻市民活動支援センター
☎37-2737

